



Mur | Mur : エネルギー消費量削減のための民間建築物の改修

フランス・グルノーブル=アルプ・メトロポール

要約

「Mur|Mur」は、グルノーブル・メトロポールが開発した大規模な民間住宅改修計画である。最初のキャンペーンは、1945年から1975年の間に建てられたマンションの改修を通じてエネルギー消費量を削減することを目的としたものである。2010年から2014年までの間に、84戸のコンドミニアムの4,467戸が改修され、合計173戸のコンドミニアムがMur|Murにより個別の支援を受けた。改装の結果、5,200トンのCO₂排出量が節約され、年間135～250ユーロの節約になった。

背景

グルノーブル市の山間部における気候変動の影響は目に見えて深刻であり、2005年には「大気エネルギー気候計画」が採択された。エネルギー消費量が最も多いのは工業部門で40%、住宅部門で24%となっている。そこでグルノーブル市は、CO₂排出量を削減し、エネルギー消費量を22%削減するという目標を達成するために、Mur|Murスキームを考案した。

このプロジェクトでは、民間住宅の断熱改修に焦点を当て、エネルギー効率を高め、結果としてCO₂排出量を削減することを目的としている。フランスでは、インセンティブが国の税額控除と金利0%の融資しかないため、Mur|Murのような地元で根ざした改修プロジェクトが必要とされている。古い建物をしっかりと断熱することで、建物のエネルギー消費量の73%を占めるテナントの暖房費や給湯費を削減することができる。このプロジェクトの実施は、エネルギー価格の高騰によりフランスでは依然として深刻な社会問題となっている燃料貧困の緩和にも貢献している。

課題と教訓

Mur|Murは民間の共同所有住宅を対象としていたため、主な課題の一つは、共同所有者を説得して改修のプロセスを経ることであった。改装を開始するためには、建物の共有者の過半数以上が工事に賛成票を投じなければならないため、プロジェクトの長期化につながることも少なくない。



Mur|Murにより改修中の建物

©グルノーブル=アルプ・メトロポール

グルノーブル=アルプ・メトロポール



人口：
450,000

面積：
541.17 km²

首長誓約署名年：
2008

CO₂排出削減目標：
2020年までに
35%減

資金援助は所有者にとって大きな関心事であった。建物に住んでいる多くの世帯は、リフォームするための財源がなく、都庁やパートナーによる補助金に大きく依存していた。合計で1,161世帯（改修後の建物に住んでいるオーナーのみが対象）が、改修工事の90%までに適用される個人向けの補助金の恩恵を受けていた。しかし、補助金は後払いとなっており、一部の世帯では生活費の支払いが困難な状況となっていた。

このプロジェクトでは、建築部門と市民の低エネルギー改修への移行を促進することが困難な状況にあった。さらに、グルノーブルではこの経済セクターの活動が低いため、建物の改修を実施するための十分な労働者の確保が困難であることが判明した。

今回のプロジェクトから学んだ最も重要な教訓は、改修工事のプロセスには、手続きの簡素化と住宅所有者への献身的なサポートが必要であるということである。Mur|Murの評価を受けて、オーナーに直接事務的なサポートを提供するワンストップショップが設立された。共有者と建物管理者の両方のための専用のセッションが設置されている。これらの会議は、居住者の気持ちを理解すると同時に、彼らの証言を共有することで、改築に対する恐怖心の克服を促すことを目的としている。改装は集団的な意思決定に依存するため、オーナーの支持を高めるためにも重要な役割を果たしている。

Mur |Murキャンペーンの結果と継続

プロジェクト終了時には、対象となる5,000棟のうち、4,467棟が改修された。これらの改修により、5,200トンのCO2排出量が削減された。合計で36の利害関係者が、低エネルギー改修について学び、訓練を受けるよう奨励された。Mur|Murでは多くの建設労働力が必要とされていたため、このキャンペーンはこの分野での地元の雇用創出にもプラスの効果をもたらした。

キャンペーンの成功により、Mur|Murは2016年から2021年まで延長された。この新しいプロジェクトでは、グルノーブル都市圏を構成する49のコミュニティに、一戸建て住宅と民間の共同所有による共同住宅という新しいタイプの住宅を建設することとなった。最初のキャンペーンでの財政的な課題を受けて、Mur|Mur 2は、誰もが利用しやすいように特定の銀行融資を特定し、ワンストップショップを設立することで、より良い行政サポートを提供している。これにより、オーナーとの個別面談が行われ、様々な形態の資金援助について議論される資金計画の個人化が可能となった。Mur|Mur 2については、すべての物件にガイダンスと支援が提供されているが、1945年から1975年に建てられた物件のみが工事の補助対象となっている。

最初の Mur|Mur キャンペーンで直面した課題に対処し、住宅所有者に改修を説得して認知度を高めるために、コミュニケーション戦略が開発された。この戦略は、現場訪問、説明会、ソーシャルメディアキャンペーン、Mur|Mur 2のプレゼンテーションパンフレット、ビデオなどで構成されている。グルノーブル・アルプ・メトロポールは、今後も改修管理の支援を強化し、恒久的な公共政策とすることを目標としている。

役立つリンク

- ▶ <http://www.alec-grenoble.org/4262-mur-mur-campagne-isolation.htm>
- ▶ <https://www.lametro.fr/265-mur-mur.htm>

重要データ

87棟の民間コンドミニアムに

4,467戸の住居

5,200トンのCO₂削減

住戸につき一年 €135-250 の節約

プロジェクトの資金調達

- **資金源：**
金融支援（ラ・メトロとそのパートナーによる）と金融インセンティブ（低所得世帯へのブロック・グラントと補助金）の組み合わせ
- **総資金：**
6,100万ユーロの仕事、
共有者からの3,900万ユーロ、
補助金2,200万ユーロ



問合せ

プロジェクトの詳細の問合せ先：David-Albert BILLIOTTE,
Mur|Mur2 Project Manager, Hou- sing Department of
Grenoble-Alpes Métropole
david-albert.billiotte@lametro.fr